

# 家族マンガ・サザエさんからみる 戦後から高度成長期の 一般家庭の健康、医療の課題

大見 広規

名寄市立大学

## 1. はじめに

一般家庭の健康や医療の課題は、社会の背景を受け歴史とともに変遷を重ねてきている。画像情報を調査対象として、歴史的背景と一般家庭の健康や医療の課題を論じた研究はほとんどない。そこで、画像情報として、日常的な一般庶民の生活が描かれている家族マンガ・サザエさんを対象にして、社会の変化と一般家庭の健康や医療の課題を分析した。

サザエさん、もちろん健康や医療をテーマにして描かれた作品ではない。しかし、様々な社会的背景や変遷が、一般家庭の家族の活動を描くことであらわされている。社会的背景や変遷の中には、一般庶民が関心を持ち、影響を受けるような健康や医療の課題が含まれている。そのようなものを抽出し、整理することで歴史的な変遷を検討した。

サザエさんを対象にした調査はいくつかある。家族、社会、ジェンダー像をテーマとしたもの、市民生活の歴史資料として評価するものなどが散見される<sup>1,2)</sup>。特に、食生活の変遷を詳細に分析した奥村彪生の一連の研究などは価値があるものと考えられる<sup>3-9)</sup>。しかし、関連する場面を取り上げた、質的な分析が主である。本調査では描かれた頻度を集計し、経年的な変化を軸とした変化がわかるような表にして、歴史的背景との関係を検討する量的調査とした。

## 2. 対象と方法

原作者である長谷川町子氏が実際に執筆したサ

ザエさん(文庫版)全45巻。朝日新聞社2010を対象にした<sup>10)</sup>。健康や医療の課題に関する描画があるコマを抽出し、その中に描かれている事柄を内容に応じて分類して表にした。

サザエさんは1946年(昭和21年)から1973年(昭和48年)までに執筆されたもので、戦後から高度成長期の社会情勢が反映されている。これを約7年ごとの1946年～、1953年～、1960年～、1968～1973年の4期に分け、描かれている事柄の数と歴史や社会情勢と比較した。

## 3. 社会的背景

サザエさんの分析では、約7年ごとに4期に分けた(表1)。

I期は、いわゆる終戦後であり、進駐軍の占領下にあった時期である。あらゆる物資が不足し、配給や闇市などがキーワードになる時代である。コレラや赤痢が蔓延し、死因の第一位は結核であった。また、この時期に第1次ベビーブームを迎える。いわゆる団塊の世代といわれ、現在70歳前後の人々に当たる。

II期はサンフランシスコ条約後、占領政策が終了し、「もはや戦後ではない」との言葉のもと、復興が進んだ時期である。II期の第五福竜丸事件は、ビキニ環礁で実施されたアメリカ軍の水素爆弾実験で漁船が被曝した事件であった。サザエさんでも放射能の問題が取り上げられている。復興が進み、栄養状態の改善を進めるため、今では考えられないが、母乳よりミルクが勧められたことから、ヒ素ミルク事件なども起こっている。また、赤ちゃんの体位向上を競うコンテストなども実施

表1 社会的背景

	巻	長谷川町子	西暦	社会の出来事
I 期 (1946 : S21 ~ 1952 : S27)	1 ~ 10	26 ~ 32 歳	1946	占領下, 新円切替, リンゴの唄
			1946	復員コレラの流行
			1946	発疹チフスの流行
			1946	細菌性赤痢の流行
			1947	農地改革, 東京ブギウギ
			1947	1947-49 : 第1次ベビーブーム
			1950	朝鮮特需, 銀座カンカン娘
			1950	狂犬病予防法
			1950	死因の1位が結核
			1951	サンフランシスコ平和条約
			1952	日本独立
			II 期 (1953 : S28 ~ 1959 : S34)	11 ~ 22
1955	神武景気, 高度経済成長始まり			
1955	日本脳炎ワクチン発売			
1955	森永ヒ素ミルク事件			
1955	赤ちゃんコンクールが各地の保健所で実施されていた			
1956	もはや戦後ではない			
1957	アジア風邪 H2N2 流行			
1958	岩戸景気			
III 期 (1960 : S35 ~ 1967 : S42)	23 ~ 36	40 ~ 47 歳	1960	今上天皇誕生
			1961	国民皆保険
			1961	所得倍増計画
			1961	巨人, 大鵬, 卵焼き
			1962	マリリン・モンロー パルピツール系睡眠薬自殺
			1963	ケネディ大統領暗殺事件
			1963	台湾バナナ・コレラ騒動
			1964	東京オリンピック
			1965	証券不況, いざなぎ景気
			1965	アメリカ軍による北爆開始
			1966	ポッキー発売
			1966	8代目市川團蔵入水自殺
			1967	コイケヤ・ポテトチップス量産開始
IV 期 (1968 : S43 ~ 1973 : S48)	37 ~ 45	48 ~ 53 歳	1968	札幌医大 : 心臓移植
			1968	香港風邪 H3N2
			1970	大阪万博
			1971	ニクソン・ショック
			1971	缶ビール発売
			1971	カップヌードル発売
			1971	1971-74 : 第2次ベビーブーム
			1972	日本列島改造論
			1972	川端康成ガス自殺
			1973	第1次オイルショック
1973	ベトナム和平協定 (パリ協定)			

され「健康優良児」などという言葉が使われたが、今でいえばただの肥満児でしかなかったかもしれない。

Ⅲ期のキーワードは東京オリンピックと「巨人・大鵬・玉子焼き」で、どんどん成長が進んだ時代で、今の天皇が生まれた時期でもある。国民皆保険となりほとんどの人が医療を受けることができるようになった。成長が進み、人々の暮らしもよくなっていった時期であるが、有名人の自殺なども社会の話題を呼んだ。大量服薬でも死亡にまで至らないことがほとんどであるベンゾジアゼピン系睡眠薬ではなく、大量服薬で死亡するバルビツール系薬が市販されていた時代でもある。スナック菓子などはこの時期に登場している。

ニクソンショック，オイルショックもありながら，Ⅳ期は大阪万博，日本列島改造論など，いわゆる高度成長真っ盛りで，にぎやかな時代であった。日本初の心臓移植が札幌医大で実施されたことに始まり，香港風邪のパンデミックもあり，また，第2次ベビーブームが起こる。この世代は団塊ジュニアといわれ，現在45歳前後になっている。ビールが瓶入りから缶入りとなっていき，カップヌードルもこの時期に発売されている。

#### 4. データの集積

サザエさんでは，全巻で721コマに健康問題の記載があった（表2）。各期でほぼ均等に記載があることから，パーセンテージではなく，実際のコマ数で比較し検討することにした。

#### 5. 疾病，症状等の経年的分析

食品衛生，経口感染症では終戦直後のⅠ期で偽造食品，赤痢，コレラ，回虫といった，違法，あるいは非衛生的な環境に関連するものが話題となっていた。また，結核，発疹チフスもこの時期のみに記載がある。一方，風邪やインフルエンザは，現在でも流行があるように，ⅠからⅣ期を通じ，一定の記載があった（表3）。

疾患では，Ⅲ期，Ⅳ期になると高血圧，心臓病，動脈硬化，がんといった慢性疾患についてのシーンが登場してきている。また，認知症，精神疾患，ストレス，老人問題などもⅢ期，Ⅳ期で多く記載されている。症状については，各期で大きな差はなかった。

その他では，Ⅱ期にボタン電池誤嚥の記載がある。わが国で水銀ボタン電池が生産され始めたのは，1955年なので，ちょうどその時期に相当し，当初から誤嚥の問題もあったことがわかる。なお，現在のボタン電池には水銀は使われていない。

#### 6. 衛生環境，医療，薬の経年的分析

衛生環境では，Ⅰ，Ⅱ期には野犬や犬の放し飼い，Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ期ではネズミ，蚊，ハエ，ノミといった衛生害獣もⅠ，Ⅱ，Ⅲ期までで，Ⅳ期にはあまり出てこなくなっている（表4）。一方，公害にかかわる環境汚染問題がⅢ，Ⅳ期には多く取り上げられるようになってきている。また，Ⅱ期に放射能の問題が出てきているのは，1954年の第五福竜丸事件が関与していると思われる。

表2 4期に分けたコマ数の集積

	サザエさん（常に24歳）			
	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
西暦	1946–1952	1953–1959	1960–1967	1968–1973
昭和	21–27	28–34	35–42	43–48
作者年齢	26–32歳	33–39歳	40–47歳	48–53歳
総コマ数	5696	6888	8124	4956
健康問題コマ数	117	201	236	167
%：健康問題／総コマ数	2.1	2.9	2.9	3.4

表3 疾病、症状等の経年的分析

		1946-1952	1953-1959	1960-1967	1968-1973		
食品衛生・ 経口感染症	偽造食品等	シソトウ, メチルアルコール		2			
	経口感染症	赤痢, コレラ		4	2		
		寄生虫(回虫)		1			
	食中毒	屋台, 紙芝居屋, 弁当, 食品衛生検査, 大腸菌		5	4		
感染症	上気道感染	風邪, インフルエンザ, 咳, くしゃみ, 扁桃腺		16	27	19	12
	重大な感染症	結核, 日本脳炎, 発疹チフス		3			
	その他の感染症	耳下腺炎, 麦粒腫, 水虫, プール熱		2	1	1	1
	予防接種	コレラ, 発疹チフス, BCG, 日本脳炎, 海外渡航, インフルエンザ, 天然痘		4	2	1	3
身体疾患	栄養障害	脚気, ビタミン不足			2	3	
	加齢性疾患	高血圧, 心臓発作, 動脈硬化, 肥満, 肝臓病, 胃潰瘍, 腎結石, リウマチ		1	1	6	5
	がん	胃がん, 肺がん, 子宮がん				7	4
	その他	喘息, 虫垂炎		1	1	2	
精神疾患	加齢性疾患	認知症, 物忘れ			1	9	
	その他	ノイローゼ, 自殺, ストレス, 不眠, イライラ, うつ			7	9	8
外傷, 事故	外傷	こぶ, たんこぶ, ケガ, 打撲, 骨折, 感電		11	20	43	8
		交通事故			5	12	7
	事故	中毒: ガス, 一酸化炭素			5	4	2
		災害: 火災, 水難, 山岳, 航空機事故等				14	6
老人問題	老化, 寝たきり, オムツ, 老人福祉			3	1	12	
症状	消化器症状	腹痛, 下痢, 便秘, 食べすぎ等		6	4	6	7
	疲労感	疲労, 夏ばて, 肩こり, 湯あたり等		1	3	5	6
	感覚器症状	聴覚障害, 味覚障害, 色覚異常, 乱視, 鼻出血		1		1	3
	運動器症状	筋肉痛, 腰痛, ぎっくり腰			1		3
	歯科	虫歯, 歯痛		1	3	2	
	皮膚, 毛髪	成人: 抜け毛, ハゲ, 円形脱毛, 足が臭い, ヒビ・アカギレ		2	1		3
		小児: あせも, できもの		1	2	1	
咬傷	動物	犬, スッポン				1	2
	昆虫	蚊, 蜂		1			1
その他の症状			失神 しゃくり	寝ぼけ ボタン電池 誤嚥	痩せすぎ 爪色が悪い 脳貧血 大病 虐待	痩せすぎ 小児麻痺	

医療, 薬では時代の推移での変化はあまり明確ではなかったが, II期に医薬分業が取り上げられている. 今では当たり前になっている医薬分業であるが, 実は1951年に「医師法, 歯科医師法及び薬事法の一部を改正する法律」俗にいう「医薬

分業法」が成立している. しかし, 実際にはほとんど実施されず, 院外処方箋の診療報酬を高くして誘導するようになった1990年代になって普及したものである. IV期の保険医辞退は, 1971年の健保法改正案で医療費削減を厚生省が提案した

表4 衛生環境，医療，薬の経年的分析

		1946-1952	1953-1959	1960-1967	1968-1973	
衛生環境	哺乳類	野犬，放し飼い	7	17	4	
		ネズミ	7	9	7	
	昆虫	蚊	6	4		
		ハエ	2	4	4	1
		ノミ	3		2	
		不快昆虫：ハチ，アリ，カナブン	2	3	1	
	害虫駆除	DDT，害虫駆除	2	1		
	糞尿処理	馬糞，人糞，汲み取り	1	1	1	
	気象	低気圧，異常乾燥，暑さ，水不足，断水，不快指数，		6	1	1
	放射能汚染	ストロンチウム，セシウム 137，放射能の灰，放射能雨		3		
	大気汚染	スモッグ，光化学スモッグ，排気ガス，青空			1	8
	その他公害	公害，環境汚染，水銀，BHC，PCB，ヘドロ，農薬，化学工場爆発，ゴミ公害，騒音		1	1	12
医療	医科	病院，医師，白衣，聴診器，入院，手術，レントゲン，検査	4	14	25	18
		往診		4	4	3
		産科		3	3	4
		美容形成，隆鼻術	1	3	2	4
		救急車			2	1
	歯科	歯科医院，入れ歯	6	3	6	4
		虫歯予防デー		1	4	
	獣医	動物病院，動物園		3		
	薬局	薬屋，薬局，服薬指導			4	1
	あんま，整体，指圧		2	2		2
	その他			医薬分業 校医	コンタクト レンズ	カウンセラー 誤診 看護婦不足 保険医辞退 心臓移植
	薬	効能別	胃腸薬	1		5
風邪薬，喘息薬			2		1	
加齢性疾患用薬：抗高血圧薬，肝保護薬				4		
精神安定薬，鎮静薬				4	3	
栄養剤，ビタミン剤				1	2	
剤形		内服薬：錠剤，散剤	1	3	4	
		軟膏，点眼薬	3	2	1	
		湿布	2	6	1	
その他		ルゴール 毛はえ薬 仁丹		抗寄生虫薬 オキシドール 養毛剤 ベニシリン シヨック	オキシドール マーキュロ クロム サリドマイド 薬アレルギー 漢方薬	

表5 家庭治療, 健康法, その他の経年的分析

		1946-1952	1953-1959	1960-1967	1968-1973	
家庭治療・健康法	発熱等ケア	氷嚢, タオル	4	3	5	
	呼吸器予防	マスク, うがい, 吸入	1	5	3	3
	外傷ケア	絆創膏, 包帯, 脱脂綿		3	3	2
	食事	絶食, 食事制限, 美容食, 食生活改善	2	2	3	
	禁煙			2	6	
	禁酒			1	2	1
	乾布摩擦等	乾布摩擦, 冷水浴, 寒中水泳	5	8	3	
	運動	ラジオ体操, 美容体操, マラソン, 縄跳び, ゴルフ, 歩く, 体力づくり	2	4	7	5
	スキンケア	糸瓜化粧水	2			
	肩たたき		2	3		
	歯磨き				3	
その他		厚着, 薄着 手かざし療法			お灸 迷信 家庭医学書	
その他	小児の健康	赤ちゃんコンテスト	子どもの人権	赤ちゃんコンテスト 児童相談所	天然痘撲滅	
	高齢化			健康日本 平均寿命		
	人命救助			水難救助 献血 血液型	人工呼吸訓練 人命救助	
	その他	お見舞い 仮病 保険会社	慰安旅行		産休 せっかん	

ことに反発して, 日本医師会の武見会長を中心として, 全国の医師が保険医を辞退するという動きをしたことを取り上げている。

誤診, サリドマイドなどの薬害, 札幌医大の心臓移植など, わが国の医療の問題も多くの人々が感心を持ち, マンガにも取り上げられるテーマとなったのだろう。今は使わないルゴール, オキシドール, マーキュロクロムも描かれている。

## 7. 家庭治療, 健康法, その他の経年的分析

家庭でのケアや健康法では, 発熱, 咳, 外傷のケアについては, 時代の推移での変化はあまり明確ではなかったが, IV期になると禁煙が多く取り上げられ, 喫煙の害が意識される時代になってきたことがわかる(表5)。

I, II期では乾布摩擦, 冷水浴などが流行ったようである。III, IV期になると健康づくりのため

の運動が出てくる。また, 家庭医学書が取り上げられており, 一般庶民でも医学的な知識を得ようとする動きが見えてくる。

その他では, I, II, III期では赤ちゃんコンテストの話題が出ており, まだ栄養改善が子どもの健康では重要視されていたことがわかる。一方, III期では平均寿命が取り上げられている。1960年代の日本の平均寿命は, 欧米に比べ, まだまだ短かったが, アジアではトップクラスになってきた時期である。世界的にトップクラスになったのは2000年代であった。

自然感染の最後の天然痘患者発生は1997年で, 1980年にWHOは根絶宣言を出した。1970年ころは根絶直前ということで一般にも話題になったのであろう。

## 8. おわりに

サザエさんは健康や医療の課題をテーマにして描かれたマンガではない。しかし，様々な社会的影響下で，一般庶民の家庭や家族が影響を受け，活動する様子が描かれている。経年的にみると年代とともに，社会的背景も変化し，それに伴って，健康や医療の課題にも変化がみられた。戦後から高度成長期になるにつれ，衛生状態が改善され，経口感染症や寄生虫が減少するが，高血圧やがんといった非感染性疾患，あるいはメンタルヘルス，環境汚染が問題となっていた。

戦後から高度成長期と，歴史的にはあまり古くない過去の状況であるが，一般家庭の視点で健康や医療の課題をみると様々な変遷が観察され，医学史的にも重要な流れを確認することができたと考える。

## 参考文献

- 1) 簡孝阡. 日本アニメにみる家族像・地域社会像・ジェンダー像—『サザエさん』『ちびまる子ちゃん』を例に一. 国立政治大学日本語文学系碩士論文；2013.
- 2) 西脇和彦. 社会的資料としての生活マンガ：60年代から90年代まで. 學苑；2004. 766: 135-144.
- 3) 奥村彪生. まんが『サザエさん』に見る食の近代化. 神戸山手大学紀要；1999. 1: 27-68.
- 4) 奥村彪生. まんが「サザエさん」に見る食生活の戦後史 (1). 食生活研究；2002. 22(5): 15-25.
- 5) 奥村彪生. まんが「サザエさん」に見る食生活の戦後史 (2). 食生活研究；2002. 22(6): 14-25.
- 6) 奥村彪生. まんが「サザエさん」に見る食生活の戦後史 (3). 食生活研究；2002. 23(1): 16-25.
- 7) 奥村彪生. まんが「サザエさん」に見る食生活の戦後史 (4). 食生活研究；2002. 23(5): 8-14.
- 8) 矢野敬一. サザエさん一家の食卓と洋食——高度成長期の一光景 (特集「洋食」150年——幕末から現代まで). 食文化誌ヴェスタ；2008. 72: 44-47.
- 9) 小泉和子. 「サザエさん」の食卓. 生活造形；2003. 48: 71-80.
- 10) 長谷川町子. サザエさん 全45巻. 東京. 朝日新聞社；2010.